

2023 年 3 月 30 日

各 位

日本軽金属株式会社

雨畑地区土砂対策第 5 回フォローアップ検討会の実施について

日本軽金属株式会社（代表取締役社長：岡本 一郎、本社：東京都港区、以下：弊社）は 3 月 29 日に雨畑地区土砂対策第 5 回フォローアップ検討会を国土交通省、山梨県、早川町と実施いたしましたので、お知らせします。

弊社が保有する雨畑ダム（山梨県南巨摩郡早川町）について、2019 年 8 月 9 日付で国土交通省関東地方整備局甲府河川国道事務所より、雨畑ダムの定期検査結果に関する行政指導を受けました。また、2019 年 8 月の台風 10 号・同年 10 月の台風 19 号などによる豪雨の影響を受け雨畑ダム上流の雨畑川の水位が上昇したことにより周辺地域で浸水被害が発生しました。

弊社は 2019 年 9 月に国土交通省、山梨県、早川町とともに雨畑地区土砂対策検討会を設立し、周辺地域における浸水被害発生に対する応急対策、及び堆積土砂の抜本対策について検討を重ねたうえで取り纏めました雨畑ダム堆砂対策基本計画書を 2020 年 4 月 30 日に提出いたしました。

今回の第 5 回フォローアップ検討会では、2020～21 年度の短期計画の実施完了後に行っている 2022～24 年度の中期計画の 1 年目の実施状況について報告いたしました。

弊社は、今後も地域の安全確保を最優先とし、雨畑ダム堆砂対策基本計画書に基づき、関係する皆様のご協力もいただきながら、計画を着実に実行してまいります。

（添付資料 計 4 枚）

本件に関するお問い合わせ：

日本軽金属株式会社 蒲原製造所総務課 TEL：054-385-2111

日本軽金属株式会社 広報室 TEL：03-6810-7160

以上

1. フォローアップ検討会について



NIPPON LIGHT METAL COMPANY, LTD.

➤これまでの雨畑ダム堆砂対策に係る検討会の経緯

- 過去からのダム定期検査の指摘に加え、台風被災を契機に行政より指導があり雨畑地区土砂対策検討会を設立し、合意内容を基に雨畑ダム堆砂対策基本計画を2020年4月30日に提出済み。
- 計画の進捗についてフォローアップ検討会を第1回2020年6月11日、第2回同年11月26日、第3回2021年6月4日、第4回2022年4月27日に開催した。

➤第4回までの主な指摘事項

- 短期計画については、当初計画の量を達成していること、当面ではあるが町の治水安全度も確保されていることから、一定の成果が得られている。今後は中期計画をいかに実効性のあるものにしていくかが重要。

1

2.-1 中期計画の概要



NIPPON LIGHT METAL COMPANY, LTD.

○期間

- ・令和4年度（2022年度）～令和6年度末（2024年度末）

○目標

- ・過去最大規模の土砂流入へ備えた容量確保として堆積土砂約300～400万m³を撤去

○内容

(1) 土砂の活用

- ① 骨材資源としての利用
- ② 土砂処分地の確保（造成用盛土等への活用）

(2) 継続的堆砂対策の検討及び実施

2

2.-2 中期計画の実施内容の考え方

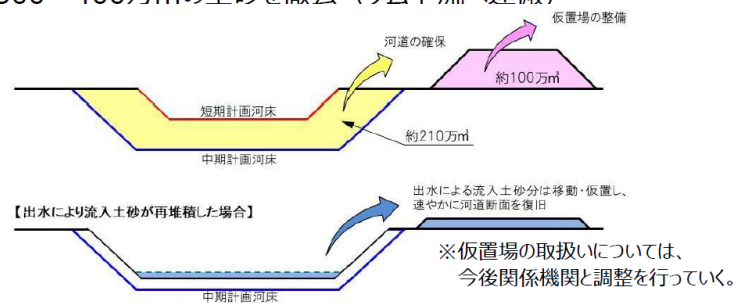


NIPPON LIGHT METAL COMPANY, LTD.

【過去最大規模の土砂流入に備えた容量確保、堆積土砂撤去の考え方について】

- 昭和57,58年に発生した過去最大規模の土砂が流入しても、本村地区に浸水被害を及ぼさない河道断面を確保するため、短期計画河床から更に約210万 m^3 の容量確保
- 毎年の出水による流入土砂分は、ダム貯水池内に移動・仮置きし、速やかに河道断面を復旧
- 流入土砂分の仮置場として、現状の仮置場にある土砂約100万 m^3 を撤去

➡ 3ヶ年で約300～400万 m^3 の土砂を撤去（ダム下流へ運搬）



3

2.-3 中期計画の実施内容



NIPPON LIGHT METAL COMPANY, LTD.

項目		実施内容
期間		• 令和4年度（2022年度）～令和6年度末（2024年度末）
目標		• 過去最大規模の土砂流入に備えた容量確保
内容	河道の確保	• 過去最大規模の土砂流入に備えた河道断面を確保するため、短期計画河床から更に約210万m^3の容量確保 • 毎年の出水による流入土砂分は移動・仮置きし、速やかに河道断面を復旧 • 流入土砂分の仮置場として、現状の仮置場にある土砂約100万m^3を撤去
	土砂の活用	• 骨材資源として堆積土砂を活用（短期での実績を踏まえ、30万m^3/年程度の活用を想定） • 引き続き、骨材需要の拡充に向けた調整を行い、需要の状況に応じて、実施内容を適宜見直し
	土砂処分地の確保（造成用盛土等への活用）	• 土砂処分候補地の盛土造成、早川運搬路等の造成に堆積土砂を活用 • 引き続き、広域的ニーズに応じた造成用盛土等への活用の検討を行い、関係機関等との調整状況に応じて、実施内容を適宜見直し
	継続的堆砂対策の検討及び実施	• 長期計画の目標（安全な堆砂状態の維持）の達成に向けた恒久堆砂対策を検討

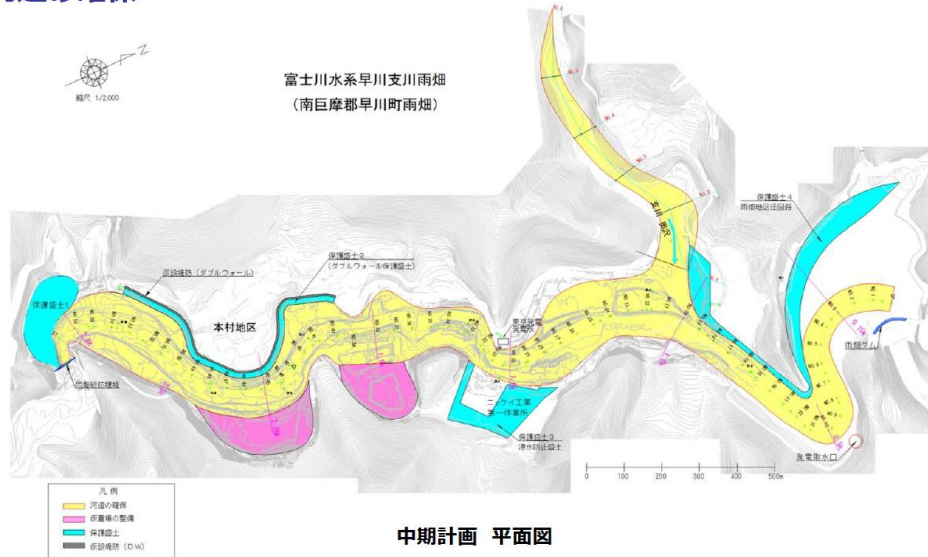
4

2.-4 令和4年度の実施状況



NIPPON LIGHT METAL COMPANY, LTD.

河道の確保



5

2.-5 令和4年度の実施状況



NIPPON LIGHT METAL COMPANY, LTD.

項目			令和4年度計画	令和4年度実施
河道の確保 ※短期計画河床から確保した河道容量			122万㎡	127万㎡
項目			令和4年度計画	令和4年度実施
土砂の活用	骨材資源として活用		30万㎡	25万㎡
	土砂処分地の確保 (造成用盛土等への活用)	雨畑川運搬路	4万㎡	12万㎡
		早川運搬路	29万㎡	41万㎡
		造成用盛土等	40万㎡	25万㎡
	合 計		103万㎡	103万㎡
項目			長期計画の目標（安全な堆砂状態の維持）の達成に向けた恒久堆砂対策を検討	
継続的堆砂対策の検討及び実施			中期計画河床の維持に向けた恒久堆砂対策施設の検討を実施	

6

3. ダンプ運搬における地域対応（継続）



NIPPON LIGHT METAL COMPANY, LTD.

【方針】 土砂運搬について、町民の日常生活や一般交通への影響を軽減し、安心・安全を確保する。

【実施状況】

2020年7月7日から継続中

① ダンプ会社への運転マナー教育・ダンプ設備確認

- ・パトロールによるダンプ運転手への指導（スピード、車間、ライト点灯、ナンバー表示など）【毎日】
- ・窓ガラス視界、カーテン収納、ウインター音、泥除け、シートベルトなどの設備確認【適宜】
- ・交通安全啓発活動、ダンプ会社の運行管理者へ安全運転マナー教育【月1回】

② 路面对策・交通誘導

- ・スパッツと洗浄機によるタイヤ洗い（小原島運搬路のタイヤ洗浄機を改良）【毎日】
- ・散水車と清掃員による道路清掃、砂埃抑止対応【毎日】
- ・路面清掃車とスーパードによる道路清掃【毎日】
- ・道路管理施設等の清掃作業【適宜】
- ・運搬路出入口に誘導員配置【毎日】

③ 定例打合せ・活動

- ・早川町内における土砂運搬対策推進協議会【年2回】
運搬台数制限について協議継続中
- ・早川町役場との道路関係定例打合せ【月1回】



②タイヤ洗浄機（小原島運搬路）



②路面清掃車

7

4. ロードマップ進捗



NIPPON LIGHT METAL COMPANY, LTD.

調査・設計
協議・調整

施工

運用

項目	短期		中期			長期	中期計画の実施状況
	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度～	
仮設堤防の建設							—
河道の確保							・過去最大規模の土砂流入に対応する河道の確保
湖内整備・湖内仮置							—
搬出能力の増強							—
土砂の活用	骨材資源						・土砂を骨材資源として活用（継続） ・骨材需要の拡充に向けた調整
	雨畑川運搬路						—
	早川運搬路						・運搬路の施工を継続実施
	処分地の確保						・土砂処分候補地の盤土造成と新たな候補地の調査 ・広域的ニーズに応じた土砂活用の検討
継続的堆砂対策							・長期計画の移行等に向けた検討及び関係機関との調整
土砂の移動・搬出量	300万㎡		300～400万㎡				

8